

別記

第1号様式(第3条関係)

臨海斎場使用申請書							
臨海部広域斎場組合管理者 様						年 月 日	
次のとおり臨海斎場の使用を申請します。							
申請者	住所				電話番号		
(使用者)	氏名				死亡者との続柄	()	
死亡者	住所				性別 <small>(死産児の性別)</small>	男・女	
	氏名 <small>(父又は母の氏名)</small>				死因	1類感染症等 その他	
	死亡(分娩) 年月日・時間		年 月 日	午前 午後	時 分	生年月日	年 月 日
			死亡時年齢 <small>(妊娠週数)</small>		歳 (週)		
火葬	使用日時	年 月 日 時			使用区分	<small>12歳以上・12歳未満・死産児・人体の一部・改葬・献体・骨標本</small>	
	火葬炉区分	通常炉・大型炉	ペースメーカー等	有・無	火葬待合室	使用・不使用	
	火葬参列予定者数	約 人	骨壺	有(寸)・無	面会室	使用・不使用	
	火葬炉前準備	焼香・献花(無宗教)・献花(キリスト)・玉串・その他					
葬儀式場	使用日	年 月 日～年 月 日 通夜(仮泊 人・無)、告別式			式場	使用・不使用	
	遺族等控室	使用・不使用	会葬者控室	使用・不使用	通夜待合室	使用・不使用	
	通夜開始時刻	時 分	告別式開始時刻	時 分	式場参列予定者数	約 人	
柩保管(霊安室)		年 月 日 時 分～年 月 日 時 分					
備考		(取扱葬儀社等) 所在 名称 電話番号 担当者氏名 受付番号 FAX <input type="checkbox"/> 暴力団関係者の利用制限についての説明をしました。 <input type="checkbox"/> 副葬品についての説明をしました。					

注1 死亡者欄で死産の場合は()に読み替え、人体の一部の場合は該当者に読み替え記入してください。

注2 火葬の場合は火葬許可証又は改葬許可証を提示してください。

注3 柩保管施設使用の場合は、注2の書類又は医師若しくは警察署長の証明を提示してください。

注4 予約を取消す場合は、□にチェックを入れFAX送信したあと臨海斎場まで電話してください。

□上記予約を取り消します。(担当者氏名)

(取消理由:)

副葬品について

ご遺骨の損傷や火葬炉設備の破損、大気汚染防止のため、下記の副葬品は柩に納めない
ください。また、ドライアイスは最小限にお願いします。

(1) 火葬炉設備破損の原因となるもの

爆発物（缶飲料、スプレー缶、ライター、電池等）
陶器・ガラス製品（ビン、鏡、食器、めがね等）
金属製品（携帯電話、CD・MDプレイヤー、仏像等）
カーボン製品（杖、釣竿、ゴルフクラブ、ラケット、竹刀等）
保冷剤
その他危険物（薬品等）

* 火葬炉等が破損した場合は、損害賠償の問題が発生する場合があります。

(2) 大気汚染（ダイオキシン・ばい煙・有毒ガス・悪臭）の発生源となるもの

ビニール製品（ハンドバック、靴、玩具等）
化学合成繊維製品（衣類、寝具、敷物等）
発泡スチロール製品（枕、緩衝材、パッキング等）
プラスチック製品、革製品（革靴、グローブ等）
その他（CD、ゴルフボール等）

(3) 燃え残りの原因となるもの

果物（スイカ、メロンなど大きな果物類）
書籍（辞書、アルバムなど厚みのある書籍類、多量の紙を使用したもの）
大型繊維製品（衣類の納めすぎ、大きなぬいぐるみ等）

(4) 焼失に伴うトラブルの原因となるもの

指輪等の貴金属
硬貨やメダル

その他の注意事項

(1) 心臓ペースメーカー等の体内装置医療品について

※心臓ペースメーカー等の体内装置医療品がある場合は必ず事前にお申し出
ください。（体内装置医療品をお持ち帰りになる場合は、焼骨確認時に係の
者にお申し出ください。お申し出のない場合は斎場で処分いたします。）

(2) 東京都暴力団排除条例施行に伴うお知らせについて

条例により暴力団関係者の葬儀の利用はお断りしています。
使用承認後であっても使用承認を取り消します。
火葬についてはご葬家・葬祭事業者に、家族・近親者のみの少人数で行う旨の
ご誓約をいただいた上でお受けしますので、必ず事前に斎場へご連絡を
お願いします。

なお、所轄警察署へ連絡しますので、予めご了承ください。